

# TRADE WORKS

 **GPT-Trade**

2025年12月期 第1四半期

## 決算説明資料

2025年5月12日

---

株式会社トレードワークス  
証券コード：3997

## 1. 業績サマリ

## 2. 2025年12月期 第1四半期 業績

- 2025年12月期 第1四半期 業績ハイライト
- 四半期推移
- 収益モデル別売上推移[パイプライン]
- 収益モデル別売上推移
- 収益モデル別利益
- 貸借対照表

## 3. トピックス

## 4. 今後の取り組み

- 事業進捗状況
- ガバナンスの連携体制強化施策、及びガバナンスの強化施策

## 5. 2025年12月期 業績予想

## 6. 株主還元と株価対策

売上高	(参考値) 粗利(粗利率)	売上総利益(利益率)	営業利益
893百万円	225百万(25.3%)	138百万(15.4%)	-90百万円
前年1Q比 <b>-173百万円</b> 比率 <b>(-16.3%)</b>	前年1Q比 <b>+0.6百万円</b> 比率 <b>(粗利: +0.3%)</b> <b>(粗利率: +4.2%)</b>	前年1Q比 <b>-11百万円</b> 比率(売上総利益: <b>-7.6%</b> ) <b>(売上総利益率: +1.4%)</b>	前年1Q比 <b>-25百万円</b> 比率 <b>(-%)</b>

※(参考値)粗利：個別プロジェクト案件に係る直接原価を差引いた粗利

※前期実績値がマイナスのものは「-」と記載

売上高

- 大型案件の検収遅延により、第2四半期へ売上繰越し（案件数:2件 売上高計:1億4千万円）

▶ 当該影響を除けば、前年対比で同程度で当初計画水準で推移

粗利(粗利率)

- 粗利率が改善(+4.2%)

- ・ 販売価格の見直しと原価管理強化が寄与。当施策は今期を通じて継続的に実施。

▶ 第3四半期半ばでシステム投資が一巡。販売・原価管理強化とあわせ下半期から更なる利益率改善

## 1. 2025年12月期 第1四半期 業績

---

- 当期純利益は前年1Q比+8百万円
- 受注損失引当金は、赤字金額となる案件が2件
- 販管費の増加は、主に人件費の増加、及び新株発行に係る費用の発生によるもの

単位:百万円

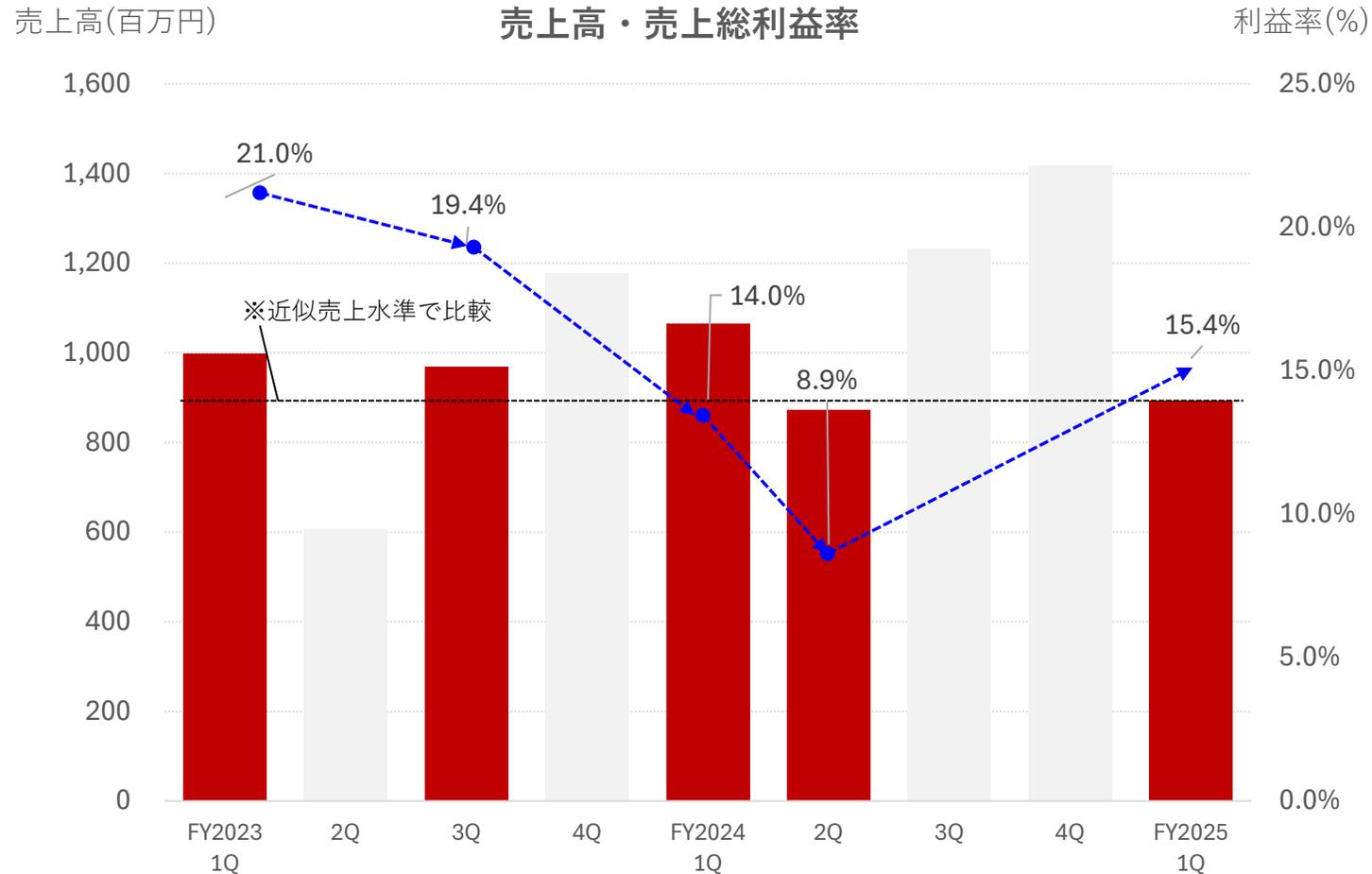
	2024年12月期 1Q	2025年12月期 1Q	前年1Q比	前年1Q比率
<b>売上高</b>	<b>1,066</b>	<b>893</b>	<b>-173</b>	<b>-16.3%</b>
(直接費)プロジェクト原価	842	668	-174	-20.6%
<b>粗利</b>	<b>225</b>	<b>225</b>	<b>0</b>	<b>+0.3%</b>
(参考値) <b>粗利率</b>	<b>21.1%</b>	<b>25.3%</b>	<b>+4.2%</b>	
(共通費)共通原価	62	51	-11	-17.7%
(特殊要因費)受注損失引当金繰入	13	36	+23	+176.9%
<b>売上原価</b>	<b>918</b>	<b>756</b>	<b>-162</b>	<b>-17.7%</b>
<b>売上総利益</b>	<b>149</b>	<b>138</b>	<b>-11</b>	<b>-7.6%</b>
<b>売上総利益率</b>	<b>14.0%</b>	<b>15.4%</b>	<b>+1.4%</b>	
<b>販管費</b>	<b>215</b>	<b>229</b>	<b>14</b>	<b>+6.5%</b>
<b>営業利益</b>	<b>-65</b>	<b>-90</b>	<b>-25</b>	-
営業利益率	-6.2%	-10.2%	-4.0%	
<b>経常利益</b>	<b>-65</b>	<b>-91</b>	<b>-25</b>	-
<b>当期純利益</b>	<b>-106</b>	<b>-98</b>	<b>+8</b>	-

(参考値)の用語解説

- **(直接費)プロジェクト原価**
  - 個別受注案件に直接紐付く原価、及び関連性が高い費用を配賦
  - 子会社は、売上原価を直課
- **粗利**
  - 売上 - (直接費)プロジェクト原価
- **(共通費)共通原価**
  - (直接費)プロジェクト原価、及び(特殊要因費)受注損失引当金繰入以外の原価
- **(特殊要因費)受注損失引当金繰入**
  - 会計上の受注損失引当金繰入額

※前期実績値がマイナスのものは「-」と記載

- 売上水準が近似する四半期毎の利益率推移を比較
- **前年第3四半期より、販売価格の見直しと原価管理強化により利益率改善**
- 前年第3四半期半ばでシステム投資が一巡。販売・原価管理強化とあわせ下半期から更なる利益率改善

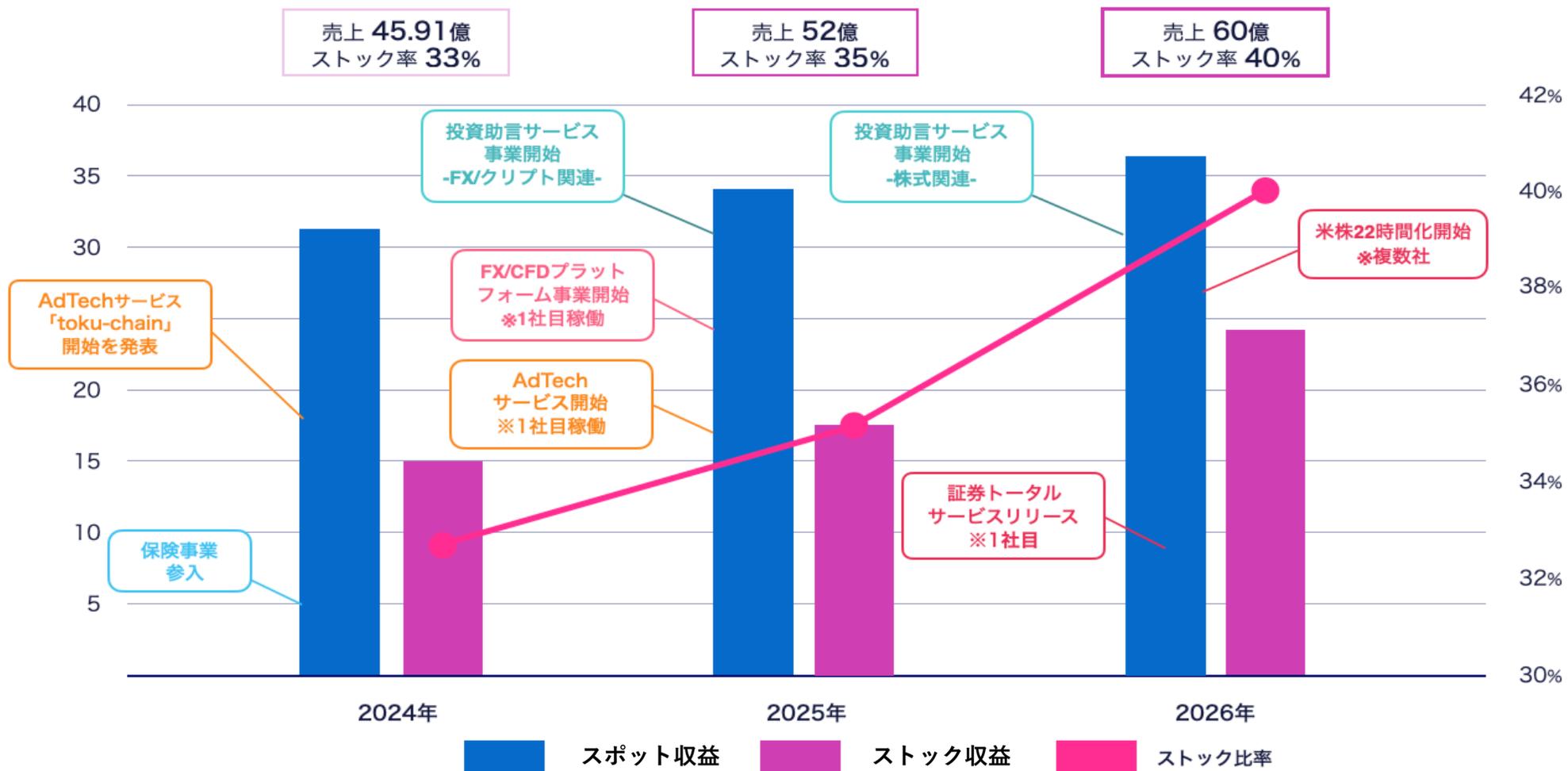


## 収益モデル別売上推移[パイプライン]

- 「株式システムのシェア拡大」「金融アセットの強化」を基礎にストック型のビジネスを増進させ、拡販性/収益性の向上を図る。
- 中期経営計画（22年～26年）のKPI達成と共に、次期経営計画に向けて強固な顧客基盤、アセット基盤を構築する。

### 事業展開と売上推移

※ストック＝金融アセットから得られる月額収入を指す  
(SESサービス等は除く)

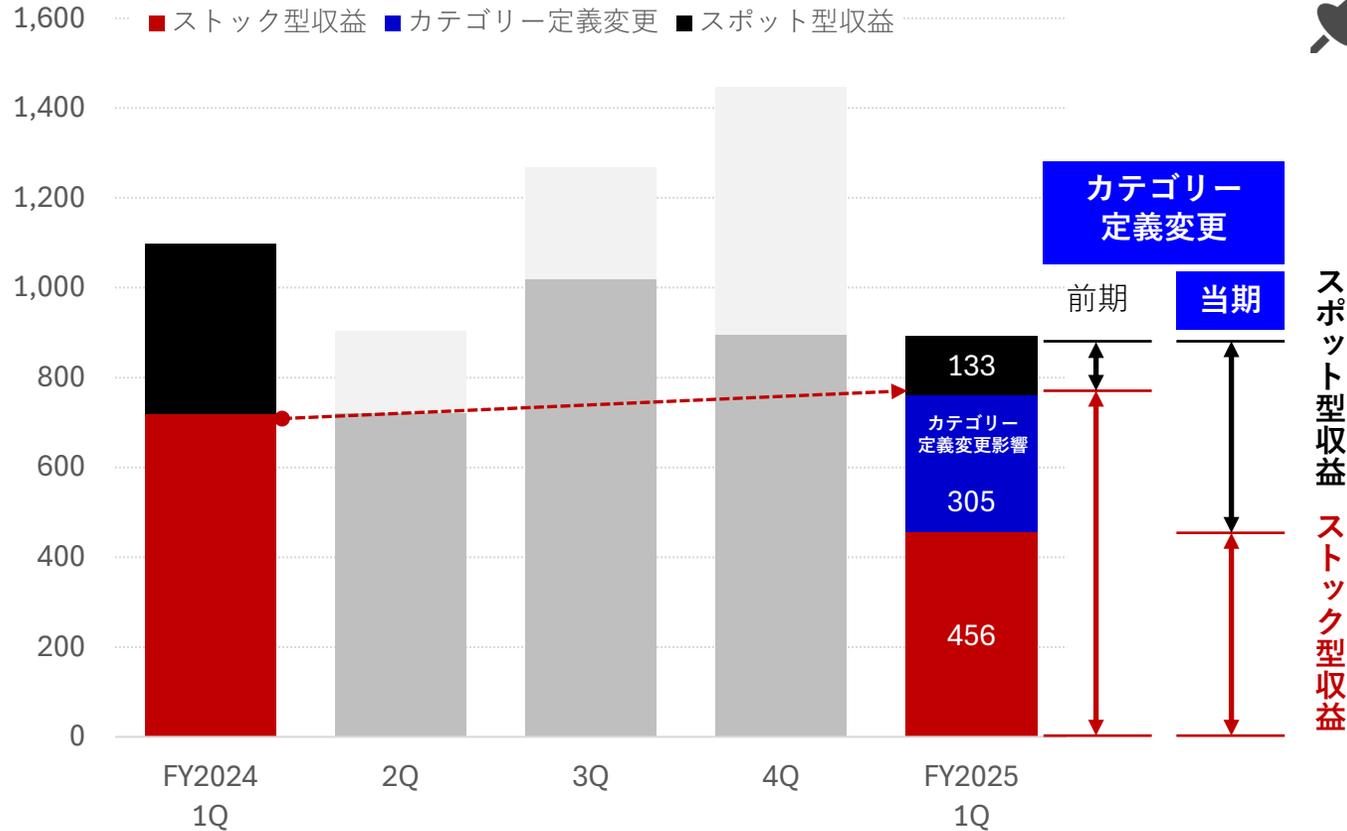


# 収益モデル別売上推移

- 今期より収益モデル別売上のカテゴリー定義を変更
- システム利用料/保守収益の進捗管理を可視化するため、ストック型収益の定義を変更

## 収益モデル別売上

単位:百万円



## カテゴリー定義

時期	定義
前期	スポット型収益：請負開発 ストック型収益：SES契約、システム利用料/保守料、※子会社事業
当期	スポット型収益：請負開発、SES契約 ストック型収益：システム利用料/保守料 ※子会社事業は上記の定義別に区分

スポット型収益  
ストック型収益

# 収益モデル別利益

- 前期ベースの集計方法では、前年1Q比でストック型収益、スポット型収益ともに利益率は改善
- 前年1Qは大幅な不採算案件が発生したが、販売価格の見直しと原価管理強化により当期1Qでは不採算案件数が減少し利益率が改善

## 収益モデル別利益

(参考値)				収益モデル別利益				(参考値)			
利益率(当期集計ベース)				利益率推移(前期集計ベース)				利益率推移(前期集計ベース)			
2025年12月期1Q				2024年12月期1Q				2025年12月期1Q			
単位:百万円				単位:百万円				単位:百万円			
	ストック収益	スポット型収益	全社計		ストック型	スポット型	全社計		2024年12月期1Q	2025年12月期1Q	YoY
売上高	455	437	893	利益率	19.5%	24.0%	25.3%	利益率	19.5%	24.0%	+4.5%
(直接費)プロジェクト原価	318	350	668		24.1%	32.5%			24.1%	32.5%	+8.4%
粗利	137	87	225								
<b>粗利率</b>	<b>30.2%</b>	<b>20.1%</b>	<b>25.3%</b>	主要案件分析(トレードワークス単体ベース)							
(費用)共通費			51	粗利率 30%超	ストック型 69.3% (28件)	61.1% (27件)			69.3% (28件)	61.1% (27件)	-8.2% (+1件)
(費用)受注損失引当金繰入			36		スポット型 57.9% (41件)	78.3% (18件)			57.9% (41件)	78.3% (18件)	+20.4% (-23件)
売上総利益			137	粗利率 30%未満	ストック型 7.9% (21件)	11.3% (24件)			7.9% (21件)	11.3% (24件)	+3.4% (+3件)
売上総利益率			15.4%		スポット型 -21.1% (19件)	7.8% (12件)			-21.1% (19件)	7.8% (12件)	+28.9% (-7件)
				追加コスト (未請求)	-7百万円 (17件)	-34百万円 (18件)			-7百万円 (17件)	-34百万円 (18件)	-27百万円 (+1件)

# 貸借対照表

単位:百万円

	2024年12月期 期末	2025年12月期 1Q	前期比
<b>流動資産</b>	<b>1,730</b>	<b>2,144</b>	<b>414</b>
現金及び預金	804	1,094	290
売掛金	576	400	-176
棚卸資産	330	588	257
<b>固定資産</b>	<b>1,173</b>	<b>1,668</b>	<b>495</b>
有形固定資産	259	428	169
無形固定資産	399	528	129
投資その他資産	514	688	174
<b>資産合計</b>	<b>2,904</b>	<b>3,790</b>	<b>886</b>
<b>流動負債</b>	<b>1,117</b>	<b>1,268</b>	<b>151</b>
買掛金	198	204	6
<b>固定負債</b>	<b>507</b>	<b>872</b>	<b>365</b>
<b>純資産</b>	<b>1,278</b>	<b>1,649</b>	<b>371</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>44.0%</b>	<b>43.5%</b>	<b>-0.5%</b>

- 流動資産  
主に大型案件の検収遅延により第2四半期へ売上繰越しになったことにより、棚卸資産増加
- 固定資産  
主にGMOあおぞらネット銀行案件の自社プロダクトに係るサーバー設置、及びソフトウェア開発により有形固定資産及び無形固定資産が増加  
  
資本業務提携に係るCXRエンジニアリング社への投資により、投資その他資産が増加
- 固定負債は以下の2点により増加
  - 長期借入の実行(+240百万円)
  - GMOあおぞらネット銀行案件の自社プロダクト開発に係る長期未払金(+157百万円)
- 純資産  
第三者割当による新株発行により増加

## 2. トピックス

---

日本デジタル空間経済連盟と共に、メタバース・NFTを活用した  
長期入院中の子どもたち支援プロジェクトに参画！  
～国際小児がんデーにデジタルエンジェルスPT（プロジェクトチーム）発足～

メタバース・NFTを活用した  
長期入院中の子どもたちを支援する共創プロジェクト  
～ デジタルエンジェルPT ～



日本デジタル空間経済連盟  
Japan Digital Space Economy Federation



TRADE WORKS

## りそなHDと共同で大阪・関西万博『バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～』の金融教育ゲームを開発 ～世界とつながる未来型金融・SDGs教育コンテンツ～

[次世代の金融体験を提供する新たな挑戦]

本ゲームは、バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～（大阪・関西万博のバーチャル会場）仮想空間「メタバース」を活用し、世界中の来場者が「持続可能な経済」と「金融リテラシー」を楽しく学べる新しいデジタル体験を提供しました。参加者は仮想の地球を舞台に、資金管理や投資の基本を学びながら、SDGsの目標と経済活動のバランスを実践的な課題を通じて学ぶことができます。

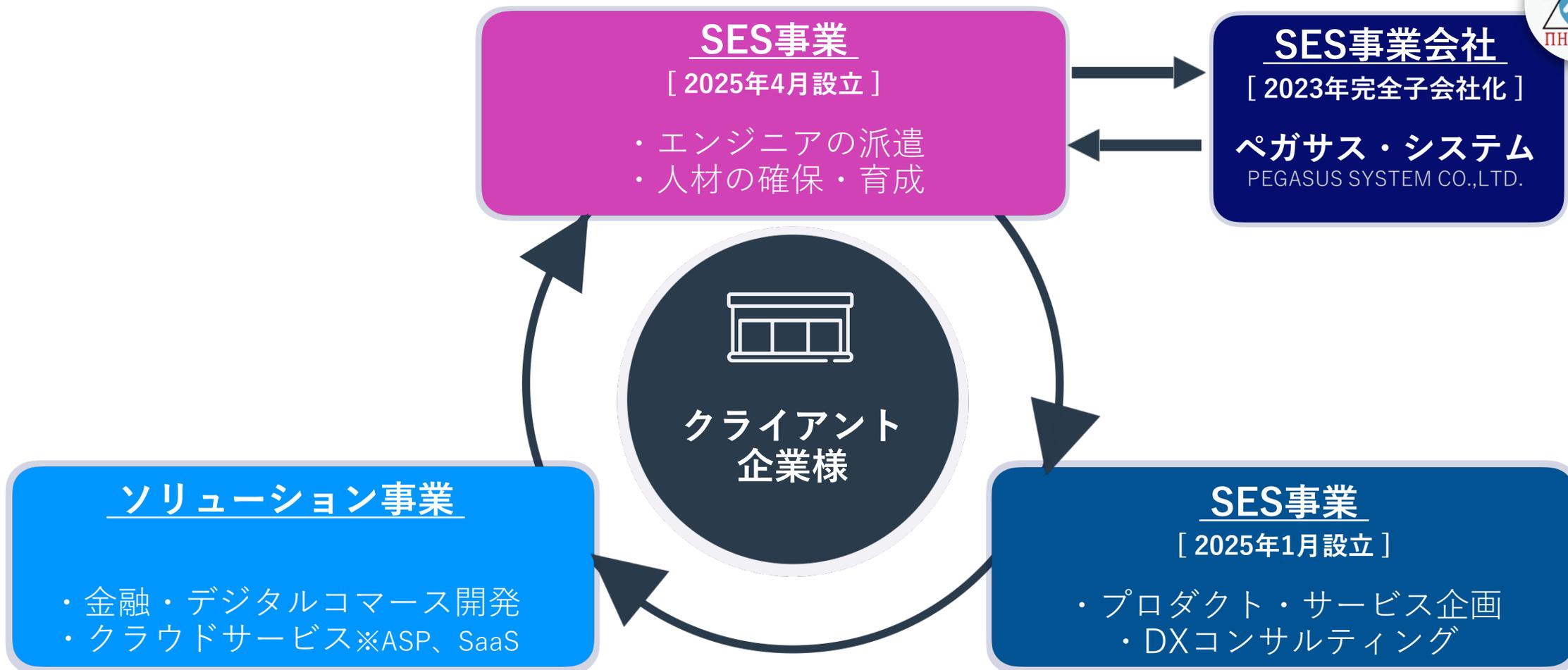
サステナビリティ・金融教育をテーマにした  
『RESOTERRA（リソテラ）』

RESOTERRA  
リソテラ

～世界とつながる未来型金融・SDGs教育コンテンツ～

## SES (※) 事業部の組成 ～既存事業とのシナジーの最大化～

※System Engineering Service



## CXRエンジニアリング 持分法適用会社化 ～暗号資産/FXおよび金融アドバイザー領域強化～



暗号資産、FX、CFDのシステム開発・運用に強みを持つCXRエンジニアリングと  
株式システムに強みを持つ当社で、マルチアセット型の金融システムを共同展開

また、多くの現役トレーダーが所属する同社と共に  
金融アドバイザーサービスを共同開発

暗号資産・FX・CFD分野の  
システム開発、運用  
～マルチアセット展開～

自動売買取引システム  
プラットフォーム展開  
～金融アドバイザー分野参入～

FX・暗号資産 取引所システム関連導入実績

Rakuten Wallet

SBI VC Trade

SBI GROUP  
BITPOINT

FX  
Infinite  
Possibilities

JFX株式会社

DeCurret

coinbook

## 証券業界を狙うサイバー攻撃に即応、多要素認証 相談・アドバイザーを開始 ～急増する不正アクセス・フィッシング対策を支援～

証券会社・金融機関を装ったフィッシングサイトや偽アプリを経由した不正アクセスが急増しており日本の証券会社を明確に標的とした攻撃が社会問題となっています。これを受け、各社においては対策の強化が急務となっています

当社はこれまでの金融機関向けシステム開発・運用、およびセキュリティ対策に関する知見を活かし、外部のセキュリティ協力会社とも連携した専門チームにて、あらゆる証券会社・金融サービス事業者様からのご相談に対応。



# 証券業界を狙うサイバー攻撃に即応 多要素認証（MFA）相談窓口を新設

## オンライン・システム型 投資助言サービス「GPT-Trade」の展開

生成AIなどの最新テクノロジーを駆使した次世代アドバイザーサービスの開始

対応金融機関

**Rakuten Wallet**

**GMOコイン**

 **TRADE ADVISORY  
TECHNOLOGIES**

 **GPT-Trade**

”感情”に  
左右されないトレードを

「GPT-Trade」でストラテジーを構築  
トレードをシステムティックに実行

### サービス稼働状況

暗号資産（差金決済）取引、外国為替証拠金（FX）取引向けの投資助言サービスを開始。

金商業者として楽天ウォレット、GMOコインが導入済み。

※順次、サービス連携先金商業者を拡大予定

4月中旬以降、両投資助言システムは安定稼働中。  
会員数・取引高ともに順調に増大中。  
今後、既存サービスの継続的な機能拡張とともに、  
株式取引向けの投資助言サービスも開始予定。

## 大和証券の新アプリ「D-Port」へWeb3特典配信プラットフォームのコンテンツ提供開始

～ユーザー特典を届けるWeb3コンテンツの展開を開始。大和証券との協業へ～

「D-Port」アプリ内限定コンテンツとして、当社の「toku-chain」を搭載。利用者はtoku-chainを通じて特典・クーポンを獲得でき、デジタルウォレット上で保有し、必要に応じて使用することが可能です。「toku-chain」はブロックチェーン技術を活用したWeb3型特典配信プラットフォームであり、企業が提供するインセンティブの透明性と信頼性を確保しながら、ユーザーへの価値ある体験の提供を支援します



資産管理から情報収集まで

アプリ1つで  
まとめて管理



## シェア型FX/CFD ASPサービス「TRAdE Power FX/CFD」

第一弾としてGMOあおぞらネット銀行への導入を皮切りに他の金融機関への展開を予定

- ・従来の個別開発不要で、複数の金融機関がシステム基盤をシェアしながら利用できるASP型
- ・業務システム、フロント機能、マーケット情報提供を標準装備し、カスタマイズ対応も可能。
- ・サブスクリプション型の料金モデルで導入コストを抑えながらスピーディな市場参入が可能。

### 「シェア型ASP」

- ・従来の個別開発が不要で、システムの導入負担を大幅に削減
- ・金融機関間で基盤を共有し、スケールメリットを活かしたコスト削減を実現

### 低コスト・短期間での導入可能

- ・初期費用を抑えたサブスクリプションモデル
- ・導入期間は最短2、3か月で、スピーディな市場参入が可能

### オールインワンパッケージ

- ・マーケット情報、カバー機能、業務システムを標準装備
- ・金融機関ごとのカスタマイズ対応で、独自のサービス展開を支援

### 参入障壁の低減

- ・当社が保守・運用を一括対応し、金融機関のIT負担を軽減
- ・シェアモデルを活用した低コストの料金体系で、新規参入を後押し

### 継続的な機能拡張能

- ・市場ニーズに応じたアップデートを継続提供
- ・AI技術の活用を視野に、さらなる機能向上を計画

## 三菱総研DCSとの協業によるmiraicompassシリーズ「mirai▶coco」リニューアル

～ユーザー利便性の向上と、今後のビジネス拡張に向けた基盤を強化～

本プロジェクトは当社が長年にわたり培ってきた金融システム領域での高い技術力およびEコマースやファンダム向けプラットフォームで実績のあるユーザビリティ設計力が高く評価され、開発パートナーとして参画。リニューアルでは、ログインや認証などのユーザーインターフェースを抜本的に見直し、保護者や受験生にとって使いやすい操作性を実現したほか、今後のサービス拡張や新機能追加を見据えた柔軟なシステム設計を導入。



ここからはじまる、みんなの未来。

教育の未来を支援する  
成長伴走型校務DXサービス

**mirai▶coco**  
ミライココ

先生と生徒・保護者がつながり、共に生徒の成長を支える  
ワンストップ型の校務DXサービスです。

miraicompass シリーズ

**DCS**

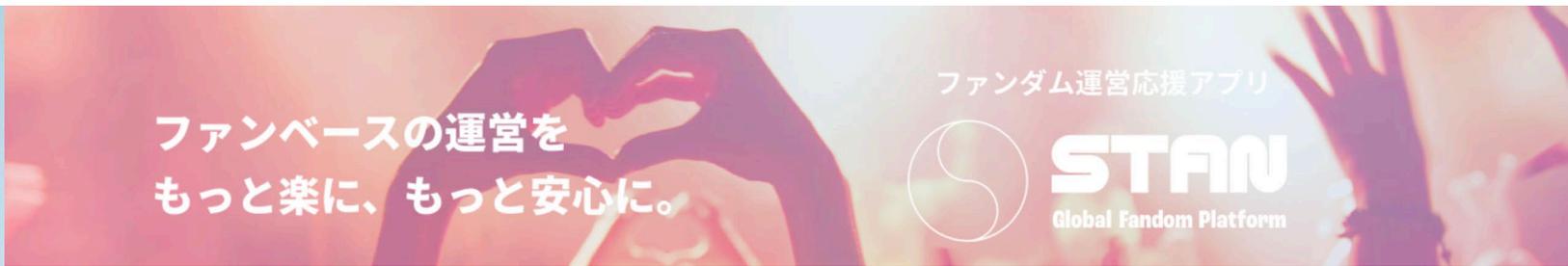
三菱総研DCS株式会社

## 3社協業のファンダムプロジェクトの進捗報告

～ 江籠 裕奈 参画決定、5月9日サービス本格始動 ～

当社及び株式会社KeyHolder並びに株式会社BEAMINGとのファンダム立ち上げに関し戦略立案・準備を行ってまいりました。協業当初は調整が必要な点が多く、想定していた進捗を達成するには至りませんでした。こうした状況を打開するため各社の経営層が直接関与するステアリングコミッティーを立ち上げ、プロジェクトの推進を強化。

戦略立案の見直しや意思決定の迅速化を図り、2025年5月9日より本プロジェクト、ファンダム運営支援アプリ「STAN」へ江籠 裕奈の参画が始まり本格的にサービス始動の運びとなりました。



株式会社キーホルダー



- グループ傘下のアーティストマネジメント会社との連携
- 参画アーティストの選定およびIP提供
- コンテンツ管理・マネジメントの実施

株式会社BEAMING

**BEAMING**

- ファンダムの組成・運営ノウハウの提供
- ファンの熱量を最大限に活かす運営体制の構築
- ファンエンゲージメントを高める施策の企画・推進

株式会社トレードワークス



- ファンダムサービスのシステム構築・運用を担当
- 金融システム開発のノウハウを活用し安全性・拡張性に優れた基盤を提供
- ファンとアーティストをつなぐデジタルプラットフォームの開発

### 3. 今期の取り組み

---

## 株式システムのシェア拡大

### ●証券トータルシステムの展開

#### 総合証券及び大手ネット証券に販路拡大

SCSK社との資本業務提携を基礎に証券業務システムプラットフォームの構築及び営業活動中。現在、第一弾として大手ネット証券向けに米国株のトータルシステムの導入プロジェクトを推進中  
(26年リリース予定)

### ●米国株システムの22時間取引対応

#### 当社米国株システム「TradeAgent」の拡販

ニューヨーク取引所が取引時間を1日22時間に延長する計画を発表。導入済みシステムの複数社に対する大規模リニューアル案件受注とあわせ、新規ユーザ獲得に向け推進中  
(26年リリース予定)

## 金融アセットの強化（収益構造の強化）

### ●FX/CFDシステムのプラットフォーム展開

#### 株式システム以外の新たな取引システムのアセット化

FX/CFDの取引プラットフォームを構築中。現在主力の株式システムに加え、販路拡大と収益構造の強化を図る。ネット銀行への導入が決定  
(25年2Qリリース予定、GMOあおぞらネット銀行導入決定)

### ●非証券領域（銀行、保険）への事業展開

#### 証券関連の実績を基礎に他金融への事業展開

ネット証券システムと親和性の高いネット銀行をはじめとする銀行業界、当社出資先のソリューション「保険簿」を活用した保険業界への事業展開を開始

### ●オンライン型アドバイザーサービス展開

#### 投資助言・代理業/仲介業認可を有する企業を買収

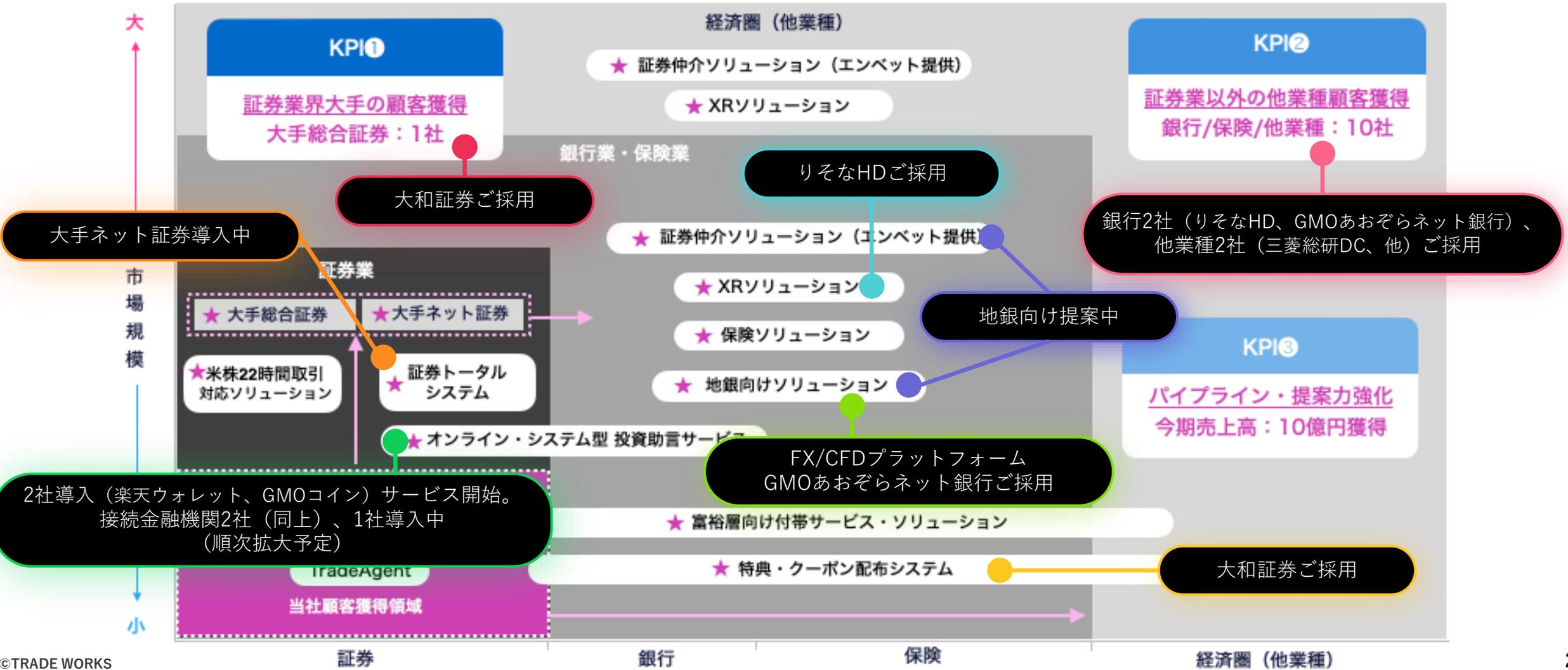
生成AIをはじめとする高度技術を活用したオンライン・システム型の金融アドバイザーサービスを展開。B2Cに加え、B2B2C/B2B等、多面的なマネタイズ展開を計画  
(25年4月より事業開始)

### ●AdTech等（広告技術）の付帯サービスの展開

#### 特典配信プラットフォーム「toku-chain」の本格展開

コンサルティング事業の開始と共に各種付帯サービスのアセットを開発。金融事業者様に対して多面的な提案を推進中  
(25年2Qリリース、大和証券ご採用、他事業社提案中)

真の顧客のパートナーとなるべく、テクノロジーをベースとした顧客中心の課題解決/ビジネスの組成を行い、現状のネット証券へのルートセールスから大手総合証券・大手ネット証券顧客を獲得し規模の拡大、及び金融全般（銀行・保険）、経済圏を持つ他業種へ商圏の拡大を図る



## 実行済

### 01 役員体制の刷新

- 取締役(社外取締役含む)の交代
- 監査役(常勤・非常勤)の刷新

## 進行中

### 02 コンプライアンス体制の強化

- 行動規範(企業倫理)の周知・教育
  - 社員が行動規範（企業倫理）を認識しているか改めて社内で周知・教育
- 内部通報制度の見直し
  - 2025年5月より社内窓口を2名体制へ
  - 女性社員へ配慮し、女性監査役を社内窓口へ

## 今後の計画

### 01 リスク管理の強化

- 全社的なリスク管理体制の構築
  - リスク管理委員会の事務局立ち上げ
  - 経営リスク等に対する部門横断的なリスク管理の見直し
  - 全社員向けの教育

### 02 監査体制の強化

- 監査体制の総見直し
  - 内部監査室・監査役会・監査法人を含めて検討
  - 監査法人の交代検討
- 内部監査室の強化
  - リスクアプローチの手法を導入し、経営戦略や業務課題とリスク評価がリンクされることで、内部監査が経営課題の早期発見・解決を目標とする

## 4. 2025年12月期 業績予想

---

## 2025年12月期 業績予想

- 発表した会社業績予想から変更なし
- 売上高の第2四半期への繰越しの影響や、需要は底堅く推移することが予想されるため上期・年間業績ともに堅調に推移する見込み

単位:百万円

	2024.12期 連結 年間	2025.12期 連結 (予)			1Q進捗率	
		上期	下期	年間	上期	年間
売上高	4,591	2,200	3,000	5,200	41%	17%
営業利益	-55	-50	230	180	-	-51%
経常利益	-53	-50	230	180	-	-51%
親会社に帰属する 当期純利益	-151			100		-98%

※上期の予想値及び実績値がマイナスであるため「-」と記載

※2025年 2月14日に公表

## 5. 株主還元と株価対策

---

## ・株主還元方針

当社は、今後も株主の皆様へ還元しつつ、事業の成長を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

## ・株主優待制度の導入

前期より還元策として、株主優待制度を導入いたしました。

本制度は前期末の株主様より適用を開始しました。

長期的にご支援いただく皆様に感謝の意を込めて、持続的な株主価値の向上を目指してまいります。

### 昨年度同様、1株あたり20円の配当を予定

	2023.12期	2024.12期	2025.12期 (予)
配当金 (1株)	20円	20円	20円

※2025年 2月14日に公表

お問い合わせ先



TRADE WORKS

<http://www.tworks.co.jp/>

〒107-6110 東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル10階  
TEL :03-6230-8900 FAX:03-6230-8901

● 本資料に関する注意事項

- 当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
- 投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。